

歴史を学ぶ講座

新・八幡の歴史 16 回目

神人(じにん)のお話でした。寺社に奉仕することで得た特権身分。寺社内では社務以下の祀官や神官に対して身分が低いとされる。

神人は 10 世紀末(平安時代)に初見されたそうだ。総数は数百人とお数千人とも。

863 年、別当安宗のもと放生会が行われる。殺生禁断の仏教的儀礼で、神人は鳳輦(ほうれん)をかつぐ等の奉仕をする。日常的には麴、油等の商業活動を。石清水八幡宮で仏教的というのは当初から八幡宮が宮寺であったからか、明治の廃仏希釈で仏教的なものは取り払われて、今では何もないが。

- ① 日時 2019 年 10 月 24 日(木) 13 時 30 分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100 円

新・八幡の歴 16 回目です。新しくスタートしています。前のお話と違う部分も話されるそうです。



(2017 年放生会 東高野街道高井輝雄さんより)



八幡まるごと館 / 八幡市男山松里 12-20

(TEL&FAX) 075-983-3664

(E-MAIL) yawata@marugotokan.net
ホームページは <http://marugotokan.net/>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



●
八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。